

## 2. 取組を進めるに当たり困難であった事例について

### B. 円滑な学位授与の促進

#### ①複数教員による多面的な指導体制の整備

##### 《理工農系》

##### ●茨城大学農学研究科

##### 「地域サステナビリティの実践農学教育」の事例

(具体的に何を実施し、何が困難であったのか)

本プログラムは、分野横断的な取組であり、分野が異なる複数教員による多面的な指導体制の整備が求められた。プログラム開始時では、そのような指導体制に参加して対応できる教員の数が十分でないことがあげられた。

(苦労したこと、困難であったことの具体的な要因は何だったのか、それにより実施内容がどのような影響を受けていたのか)

要因の根源は、研究分野の細分化という現代の科学の問題があると思われる。分野を超えて指導体制に加わる教員の確保をどうするか、加わった場合の教育負担をどう軽減するかなどの課題が残った。

(どのように対応し、どのような結果が得られたのか、また、その結果が望ましいものではなかった場合、あらかじめどのように対応していれば適切であったのか、どうすればより良い結果を導くことができたのか)

参加教員の拡充は段階的に行った。本プログラムを通じて学生の成長する姿が見えたとき、それが教員にとっては一番の喜びであった。それを広めていくことが大事だと思っている。